

吹田市総合計画（素案）

吹田2020ロードマップに対する意見（2回目）

目 地域経済の循環と活性化について

（1）現状認識について

「素案」では、「計画策定の背景」として「経済及び雇用環境の悪化」が挙げられています。資料として「日本及び大阪府の非正規雇用者数の推移」と「大阪府中核市・特例市卸売業年間商品販売額」が使用されていますが、吹田市内の企業の実態を最も正しく反映したものは2010年1月に実施した「全事業所実態調査」の結果です。吹田市が行った調査ですから、追加して活用されることをお勧めします。「経済及び雇用環境の悪化」との現状認識はその通りだと思います。

本市が卸売業の集積地であり府内第2位の販売額を有していることが最近知られるようになりました。この分野が地域経済の振興に大きな役割を果たしてきたことは雇用や税収等で明白です。しかし、その実態把握は十分ではありません。当会の要望で2012年1月に実態調査されましたが、その内容はまだまだ表面的です。東京都墨田区の実態調査項目等を参考にして、専門家の力も活用して本格的な調査を行うべきです。「素案」でも実態把握の重要性を指摘しており、一日も早く具体化されることを要望いたします。

（2）基本計画について

① 表題について

表題にある「人が集い、企業を育む、都市魅力あふれるまち」の表現に違和感があります。産業振興は「人が集う」ためでも「都市魅力あふれるまち」を作るために行うものでもありません。産業振興は地域住民が具体的な日常生活を送るために必要なものです。結果として「人が集う」ことや「都市魅力があふれる」こともあるでしょうが、「人が集い」、「都市魅力あふれるまち」をつくることで地域経済が振興するわけではありません。また、「企業を育む」とありますが、「企業」にも大企業と中小企業があり、中小企業の枠の中には「企業」と言える事業所と勤労市民や自営業者と位置づけられる事業所があることはご承知の通りです。そして、吹田市内の事業所の圧倒的多数は「企業」と言う枠で括られる事

業所ではなく「生業層」と言う枠で括られる自営業者です。そのため、「企業を育む」と言う表現には違和感があります。産業振興や地域経済の振興を語る際は「生業層」の存在を意識して施策展開していただきたいと思えます。

② 中小企業振興について

この点で最も強く求められている施策は仕事起こしです。仕事がないことが廃業者を増加させ雇用状況を悪化させています。官公需の地元中小業者優先発注は井上市長の公約でもあります。行政は真剣に仕事起こしに取り組むべきです。2010年12月議会が採択した住宅リフォーム助成制度の創設も推進するべきです。また、公契約条例の制定についても積極的に推進するべきです。第2は融資制度を充実させることです。融資制度は中小企業振興施策の基本です。

「素案」に挙げられている4点のうち上記3点はそのままの形で賛同します。4点目については「地域経済の循環と活性化に資するための企業誘致」と、表現を産業振興条例に沿って改めていただくことを要望します。

③ 商店及び商店街・市場の支援について

商店街や市場が地域コミュニティの大切な核であることはその通りです。同時に、地域住民の衣食住や文化を担う場でもあります。交流の場としての位置づけだけではなく、生活必需品を購入する場であるとの観点をしっかりと位置づけて施策化する必要があります。その点で、個店対策が重要です。

④ 重点施策に「再生可能エネルギーの推進」を

再生可能エネルギーは、地産地消、小規模、分散、地域循環で、その上、持続的で安全で有効なエネルギーです。吹田市は再生可能エネルギーの普及を環境対策の視点のみでとらえています。ドイツ等のように産業政策としても積極的にとらえる自治体が増えてきました。昨年7月に固定価格買取制度が導入されて以降急速な伸びをしめしていることはご承知の通りです。近い将来には発送電分離も実現する方向です。政府の成長戦略にも位置づけられました。吹田市は地域経済振興の柱として再生可能エネルギー推進を位置付けて市民的な関心を高めるとともに市内企業の支援を強めるべきです。

作家 赤川次郎さんが語る コエンタテインメント の中の戦争



九条の会・おおさか講演会

◆開会あいさつ
よびかけ人・松浦信郎
(日本カトリック文芸と平和協会会長)



◆開会あいさつ
事務局長・吉田栄司
(関西大学文学部助教授)



◆文化行事
廣澤大介ヴァイオリンコンサート



5月17日(金) 午後6時半開会(6時開場)
中之島・大阪市中央公会堂

参加費 1000円(学生500円、高校生以下・障がい者・介助者は無料)
◆手話通訳あり

主催 九条の会・おおさか
〒530-0054 大阪市北区南森町2丁目2-7 アンティコー南森町 905
TEL 06-6385-9005 FAX 06-6314-3950
ホームページ http://osaka9.web.fc2.com/

吹田革新懇再開総会

改憲めざす安倍政権のもと
くらし・民主主義・平和を守る共同の発展のため、
吹田革新懇、再始動!

とき 5月19日(日) 午後2時開会

場所 さんくすホール 第4会議室

資料代 500円

記念講演
「安倍政権下の改憲策動と
革新懇運動果たす役割」(仮)
二宮 厚美さん

神戸大学名誉教授・吹田自治都市研究所長
主催：吹田革新懇再開準備会
事務局 吹田市復興労働組合 電話 06-6386-4428

会費集金は会員の心をあつめしめる活動です 毎月10日までには集めましよう

商工新聞は経営のヒント・くらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましよう